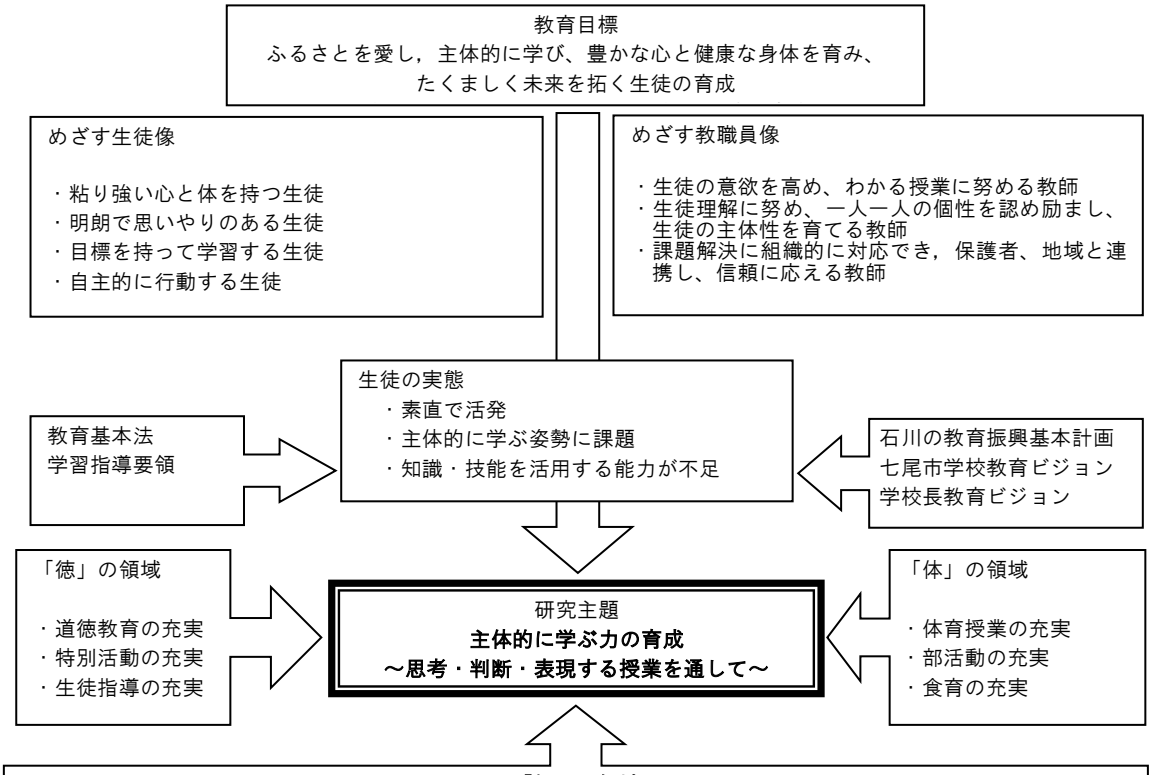
７　学校研究組織図および研究計画（別紙「学力向上ロードマップ」参照）

８　学校研究全体構想図

七尾東部中学校　研究構想図



○研究仮説

すべての教科において，教科の枠を越えて，思考・判断・表現する「学び合う」場面を中心とした授業を行えば，またそれを位置づけた単元計画を実施すれば，生徒の活用力ならびに主体性は向上するであろう。

○PDCA 計画

・学力向上ロードマップに基づき，年間３回の研究の方向性を含めた見直しを行い，計画（Ｐ）・実行（Ｄ）・検証（Ｃ）・改善（Ａ）を行う。

・校内研修会を通じ，研究実践の成果を共有し，共通実践に役立てる。

○具体的な実践内容　研究の重点

（１）活用力を高める授業づくり

２条：自ら課題を発見し，主体的・協働的に課題を解決する力の育成

①主体的に学ぶ姿を引き出すために，必要感と知的向上心を喚起する課題設定を行う。

②対話的・協働的な学びとするために，「学び合う」場面を位置づけた単元計画を行う。

③深い学びを目指して，「適用」の場面を位置づけた授業スタイルを確立する。

（２）学力・学習を支える基盤づくり

６条：よりよい解決のための質の高い学び合いのプロセスの重視

８条：よりよい学習習慣・生活習慣の定着

①帯タイムの実施による学力補充

②家庭学習の充実

③学習強化週間の設定

④ICT の活用

（３）指導改善を進める体制づくり

１１条：現状把握に基づき，取組の実施・評価・改善を図る指導体制の確立

①計画的な要請訪問と校内研修会の実施

②学力向上ロードマップの活用